

---

# 誰がための「正義」

ばい菌マン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

誰がための「正義」

### 【Nコード】

N7474Q

### 【作者名】

ばい菌マン

### 【あらすじ】

あなたには自分のすべてを捨てても守りたいものはありますか？ある2人の少年が勇者として異世界シムーンえと召喚されたことから物語は始まった。

切っ掛けはいつも突然だ

人は誰しも主人公になるのだから

それは例え本人が望もうと望まないと・・・

「ようこそ勇者様方」

この言葉から物語は始まってしまったのだから

.....

夕暮れの放課後に俺、立脇 冬弥はサッカー部の掛け声や遠くから聞こえるグラスバンド部などの演奏を聞きながら自身の教室にいた。

しばらくして俺のクラスの担任である朝霧 京子が「すまない遅くなってしまったね」と軽く息を切らしながら教室に入ってきた。

朝霧 京子は今年で24歳となる現代文の教師である。彼女はこの私立南洋高校の卒業生で日本でも屈指の私立大学に入っていたいわばエリートである、友人関係も円滑で家も大きな資産家だという。

そして彼女の最大の特徴は長いストレートな黒髪とその類稀なる容姿であろう。

その容姿と分かり易い授業があつてか校内のほとんどの生徒に親しまれ、中には彼女の熱狂的なファンクラブがあるほどだ。

実質はただの変質者の集まりだとおもつが・・

だが俺は彼女のことを嫌いである、もう一度言おう嫌いである。  
なぜかというと

「さあ、冬弥君私の家に帰って犯ろうか」

そして彼女は俺の右手に福沢さんを10枚ほど持たせ、左手を  
引くのである。

いつごろからだっただろうか学園のマドンナたる先生に売春を  
もちかけられたのは・・

だが「冬弥君、君には4つ年下の弟がいるそうじゃないか」こ  
の言葉から彼女との関係は始まってしまったのだろう。

俺にとっての守るべき者である弟を守るために

(後書き)

ども、ばい菌マンです  
練習作品です

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7474q/>

---

誰がための「正義」

2011年10月8日15時42分発行